きらやか銀行

2026 年 6 月 30 日

各　位

山形市旅篭町三丁目２番３号
株式会社きらやか銀行

「お客さま本位の業務運営宣言」に基づく アクションプラン・KPI の 2025 年度実施状況について

株式会社きらやか銀行（本店　山形市　頭取　西塚　英樹）は、金融商品･サービスの販売、推奨等の業務について、お客さま本位のより良い業務運営を実現するため、2017 年 6 月 30 日に「お客さま本位の業務運営宣言」を制定しております。こうしたなか、当行は「お客さま本位の業務運営宣言」が実質を伴う形で役職員に定着する管理態勢の構築を目指しております。

今般は、同宣言に基づく当行の具体的な取組み内容であるアクションプラン、成果指標（KPI）に基づき、2025 年度の実施状況をお知らせいたします。
また、当行取扱いの投資信託、外貨建て保険におけるリスク・リターン等をお客さまに比較いただけるよう「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI」を公表いたします。

当行は、本アクションプランの実践、KPI による分析を通じ、お客さまの安定的な資産形成や資産運用にかかる業務において、より一層お客さまに最適な商品、サービスの提供を行うよう努めてまいります。

以　上

お問い合わせ先
個人サポート部　樋口
電話番号　023-628-3931

じもと HOLDINGS

「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン、ＫＰＩの2025年度の状況について

株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営宣言」に基づくアクションプラン、KPIについて、2025年度の対応状況や成果指標（ＫＰＩ）を公表いたします。

＜アクションプラン＞

項目	取組み方針（アクションプラン）
１．お客様の最善の利益の追求	当行は、高度の専門性と職業倫理を保持し、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さま本位の業務運営が企業文化として定着するよう努めます。 また、お客さま本位の良質なサービスを提供し、お客さまの最善の利益を追求するため、以下の施策に取組みます。 【取組み事項】 ・お客さまの多様な運用ニーズに応じた商品ラインナップ構築に努めます。 ・「お客様の最善の利益の追求」の企業文化への定着のため、研修等により役職員の啓蒙に継続的に取り組んでまいります。 ・お客さまに対し金融や投資に関する知識の向上や市場動向の把握に役立つセミナー等の機会提供に努めます。

2025年度取組状況

① 当行はお客さまの投資目的やリスク許容度に応じて投資信託・生命保険商品をご選択いただけるよう商品ラインナップの充実に努めており、特定のカテゴリーに偏ることのないよう適宜見直しを行っております。

② 2025年度において投資信託に関しては、現状特定のカテゴリーに偏りがなく、商品のラインナップも取り揃っていることから今年度は商品の入れ替えは実施致しておりません。

③ 生命保険に関しては、「ファイブテン・ワールド４」（Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）「まごころつながる終身保険２（リレープラン）」（ＰＧＦ生命）「まごころつながる終身保険２（シンプルプラン）」（ＰＧＦ生命）を新規に採用。

＜金融商品ラインアップ＞

投資信託

カテゴリ		取扱数	取扱比率
債券		11	19.3%
	国内	1	1.8%
	海外	10	17.5%
株式		30	52.6%
	国内	9	15.8%
	海外	21	36.8%
REIT		5	8.8%
	国内	2	3.5%
	海外	3	5.3%
その他		1	1.8%
	国内	1	1.8%
	海外	0	0.0%
バランス型		10	17.5%
合計		57	100.0%

生命保険

商品種類			取扱数	取扱比率
一時払	円建		11	44.0%
		変額年金保険	0	0.0%
		定額年金保険	4	16.0%
		定額終身保険	6	24.0%
		変額終身保険	1	4.0%
	外貨建		14	56.0%
		変額年金保険	0	0.0%
		定額年金保険	4	16.0%
		定額終身保険	10	40.0%
		変額終身保険	0	0.0%
	合計		25	100.0%
平準払	円建		16	
		定期保険	1	4.8%
		医療保険	5	23.8%
		学資保険	1	4.8%
		がん保険	3	14.3%
		定額終身保険	3	14.3%
		変額終身保険	1	4.8%
		収入保障保険	1	4.8%
		定額年金保険	1	4.8%
	外貨建		5	23.8%
		終身保険	2	9.5%
		定額年金保険	3	14.3%
	合計		21	100.0%

④　定期的に研修を行い職員のスキルアップを図るとともに、外部機関講師を招くなど、内容の充実化にも注力しています。

2025年度に実施した預り資産研修

日程	研修名
2025 年 4 月～2026 年 3 月	ＦＡ会議（商品研修１２回、コンプライアンス研修１２回マーケット研修１２回、プレゼンテーション研修１回）
2025 年 4 月	新任ＦＡ研修（商品、コンプライアンス、マーケット研修）
2025 年 4 月～2026 年 3 月	預り資産研修（コンプライアンス・商品研修等 259 回）
2025 年 4 月～2026 年 3 月	本業支援課　融資課職員研修（コンプライアンス・商品・トスアップ研修 12 回）
2025 年 11 月	内部管理責任者研修
2025 年 12 月	預り資産実務研修

※窓口ＦＡ（窓口ファイナンシャルアドバイザー）・・・窓口に来店したお客さまへ、預り資産を中心とした最適提案の業務を行う。研修実施回数　　３１１回（内、外部提携機関講義　９３回）

⑤ お客さまへの資産形成や投資に関する知識向上を目的にＮＩＳＡや相続、介護等のセミナーを実施しております。

2025年度に実施した預り資産セミナー

日程	セミナー名	参加者
2025 年 4 月	iDeCo・ＮＩＳＡについて　（3 回実施）	48 名
2025 年 5 月	積立投信・資産形成セミナー（5 回実施）	72 名
2025 年 6 月	脳トレチャレンジ！認知機能を測定してみよう！（5 回実施）	66 名
2025 年 7 月	セカンドライフセミナー・今後のマーケット展望（8 回実施）	134 名
2025 年 9 月	エクステンションプラス（3 回実施）	18 名
2025 年 10 月	将来に備えるお金の話（1 回実施）	107 名
2025 年 11 月	資産形成と税軽減・将来に備えるお金の話（4 回実施）	74 名
2025 年 12 月	簡単ゲームで認知症診断・金融トラブル（7 回実施）	306 名
2026 年 1 月	マーケット環境と今後の投資戦略について（1 回実施）	6 名
2026 年 2 月	今後のマーケット展望（10 回実施）	313 名
2026 年 3 月	脳トレチャレンジ！認知機能を測定してみよう！（4 回実施）	58 名

※セミナー実施回数　　51 回、参加者　　1,202 名

山形県は 2025 年金融経済教育推進機構の金融リテラシー調査において「金融経済教育を受けたと認識している人の割合」が全国一位となりました。当行が行ってきた社会貢献活動の一環としてのセミナー開催が山形県民の金融リテラシー向上の一翼を担ってまいりました。これからも地元の為に貢献してまいります。

項目	取組方針（アクションプラン）
２．利益相反の適切な管理	当行は、お客さまの利益を不当に害するおそれのある取引について正確に把握し、お客さまの利益が不当に害されることのないよう「利益相反管理方針」を定め、これに基づき適切な管理に努めます。また、利益相反の可能性を判断するに当たっては、例えば当行運用部門が、資産の運用先に当行法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ等といった場合の影響についても考慮いたします。

2025 年度取組状況

・利益相反については、預り資産やコンプライアンス研修を通じ、知識の習熟に努めております。また、利益相反が生じる可能性が高い取引については、特に留意して管理を行う必要性があると認識しており、役職別の研修等を実施しております。

項目	取組方針（アクションプラン）
３．手数料の明確化	お客さまに提供する商品・サービス等の名目を問わず、お客さまが負担する手数料やその他の費用等については、重要なお取引の判断材料の一つとして、お客さまにわかりやすく説明し、透明性の確保に努めます。

2025 年度取組状況

・お客さまが負担する手数料やその他の費用等について、商品ごとの交付目論見書や商品概要書、手数料をはじめとした商品の詳細を一覧にした資料「投資信託ガイド」【図 1】を使用し、担当者が当資料を用いてお客さまが負担する手数料等について、分かりやすい説明が可能となるよう研修を実施しております。また、折衝記録等を通じてお客さまに対しての説明の状況を確認しております。

【図 1】

項目	取組方針（アクションプラン）
４．重要な情報の分かりやすい提供	当行は、金融商品・サービス（以下、「金融商品等」といいます。）のご提案に当たって重要な情報をお客さまに十分にご理解いただけるよう、分かりやすく丁寧に説明するとともに、以下の施策を通じて適切かつ十分な情報提供に努めます。 【取組み事項】 ・金融商品等の提案に当たっては、基本的な商品の仕組み、リスク及びリターン、取引条件その他お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報の提供に努めます。 ・お客さまの金融商品の知識、投資経験、財産の状況及びお取引の目的等の情報を適切に把握し、お客さまのニーズ・ご意向を踏まえた最適な金融商品の情報提供に努めます。 ・お客さまの金融知識や投資経験等を踏まえ、明確で分かりやすく誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供に努めます。 ・お客さまの投資判断に重要な影響を及ぼす情報については、特に注意していただけるよう丁寧な説明に努めます。

2025 年度取組状況

① 投資信託の取扱商品をまとめた「投資信託ガイド」【図 2】にて資産運用のポイントやＮＩＳＡの概要、お客さまにご負担いただく費用とリスク等を分かりやすく説明しております。

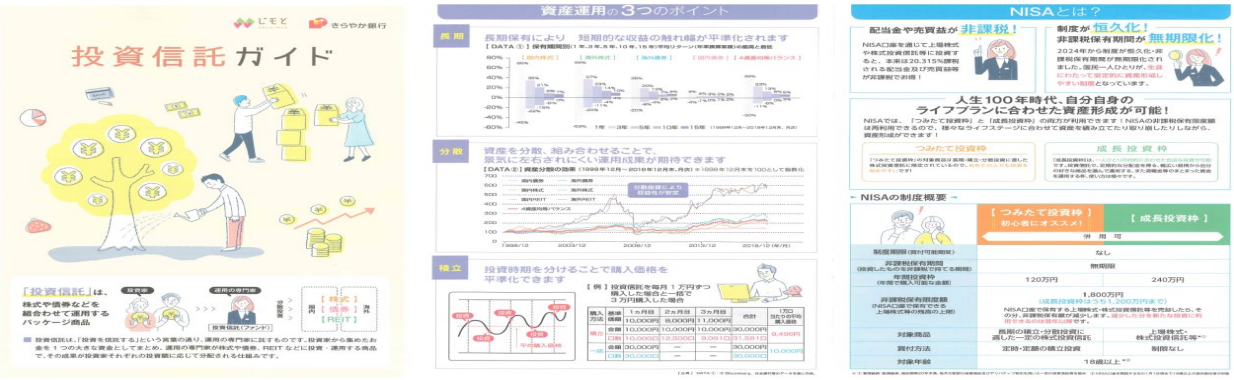
② お客さまへ資産形成の必要性や各金融商品の特徴に関する情報提供ツール「ライフプランガイド」【図 3】を使用し、より分かりやすい説明に努めております。

③ ２０２４年度に新設した「外貨建て商品での資産運用をご検討のお客様へ」【図 4】により顧客のライフプランを踏まえた資産形成について十分に検討し、投資信託や保険商品等、類似商品等の他商品と比較することで最適な運用方法を判断して頂けるよう努めております。

④ ホームページにて、当行取扱いファンドの販売件数や各期間の収益率等のランキングの他、リスク・リターンを掲載することでお客さまがファンドを分かりやすく選定できるようにしております。

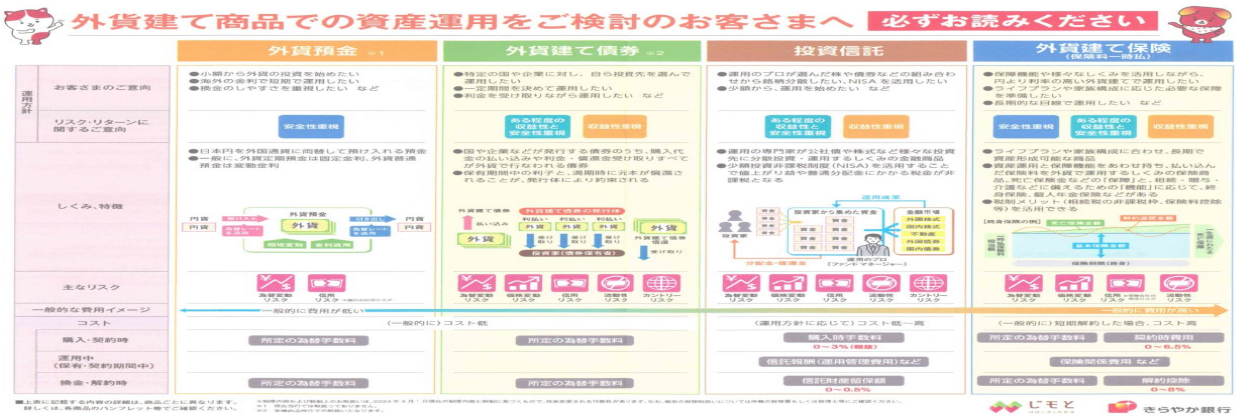
⑤ 投資信託商品説明時にお客さまへの情報提供ツールとして「重要情報シート（個別商品編）」【図 5】を作成し、お客さまのご意向を踏まえた質の高い金融サービスの提供ができるよう努めております。

【図 2】



【図 3】

【図 4】



【図５】

きらやか銀行

重要情報シート（個別商品編）　　使用開始日：2026年05月13日

インデックスファンドMSCIオール・カントリー（全世界株式）

1 商品等の内容（当行は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	インデックスファンドMSCIオール・カントリー（全世界株式）
組成会社（運用会社）	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
販売委託元	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	主として、海外先進国、新興国および日本の金融商品取引所に上場する株式に投資を行ない、「MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」の動きに連動する投資成果をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	○中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではございません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の運用はありません。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- きらやか銀行が提供する運用商品のうち、この商品が、私にふさわしいという根拠は何か？
- この商品を購入した場合、どのようなフォーローアップを受けることができるのか？
- この運用商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。主なリスクは以下の通りです。（以下に限定するものではありません。）価格変動リスク／流動性リスク／信用リスク／為替変動リスク／カントリー・リスク／有価証券の貸付などにおけるリスク
（参考）過去１年間の収益率	45.8%（2026年4月末現在）
（参考）過去５年間の収益率	平均21.3%　最低-5.7%（2022年12月）　最高56.9%（2021年3月） （2020年12月～2025年11月の各月末における直近1年間の数字）※2024年3月以前はベンチマークで代替。

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面［交付目論見書］の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- 投資信託のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- 相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入申込金額に手数料※2.75%（税抜2.5%）を乗じて得た金額とします。なお、お申込手数料には消費税等相当額がかかります。
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬）：ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.4785%（税込0.485%） その他費用・手数料が変動で、法定書類作成・監査費用が年率0.16%を上限としてファンドから支払われます。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は契約締結前交付書面［交付目論見書］の「ファンドの費用」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- 私がこの商品に100万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
- 費用がより安い類似商品はあれば、その商品について説明してほしい。
- 上記費用について、何に対する対価なのか説明してほしい。

4 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

● 当ファンドの償還期限はありません（無期限）。ただし、繰上償還することがあります。

● お客さまが当ファンドを換金・解約しようとする場合の手数料や信託財産留保額はかかりません。

● ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。

※詳細は契約締結前交付書面［交付目論見書］の「お申込みメモ」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当行の利益とお客様の利益が反する可能性

● 当行は、お客さまが支払う運用管理費用（信託報酬）のうち、組成会社から年率0.2255%（税込）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価になります。

● 当行は、この商品の組成会社（運用会社）等との間で資本関係等の特別な関係はありません。

● 当行の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されることはありません。

※利益相反の内容とその対処方針については、「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご覧ください。

https://www.kirayaka.co.jp/aboutus/management/customer/pdf/20210625001.pdf

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- きらやか銀行が勧る手数料が高い商品など私の利益よりきらやか銀行やあなたの利益を優先した商品を私にすすめていないか、
- 私の利益よりきらやか銀行やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6 租税の概要（NISA成長投資枠、NISAつみたて投資枠の対象か否かもご確認ください）

● NISA成長投資枠の対象商品です。

● 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、税制方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	分配時には配当所得として普通分配金に対して20.315%の所得税および地方税が課税されます。
換金（解約）時および償還時	所得税および地方税	換金（解約）時および償還時には、譲渡所得として、差益（譲渡益）に対して、20.315%の所得税および地方税が課税されます。

※詳細は契約締結前交付書面［交付目論見書］の「税金」に記載しています。

7 その他参考情報（契約にあたっては、次の書面をよくご覧ください）

当行が作成した目論見書補完書面	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C1405088p3=A023112340p4=006 ※PDF形式で掲載しています。
組成会社（運用会社）が作成した交付目論見書	https://www.wam.abic.co.jp/accl/conv.html?p1=1&p2=C1405088p3=A023112340p4=004 ※PDF形式で掲載しています。

交付目論見書、目論見書補完書面、重要情報シートはご希望がございましたら紙でもお渡しします。

各質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認下さい。

https://www.wam.abic.co.jp/ap02rs/contents/pdf/C140508/doc/C140508_qa.pdf

投資信託は、投資元本および収益分配金は保証されておりません。投資信託をご購入の際には、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」および「目論見書補完書面」をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

※投資に関する説明および書作権等については、交付目論見書に記載しています。

項目	取組方針（アクションプラン）
５．お客さまにふさわしいサービスの提供	当行は、お客さまの財産の状況、金融商品取引の経験、知識及びお取引の目的・ご意向等の情報を適切に把握し、以下の施策を通じてお客さまにふさわしい金融商品等の提供に努めます。 【取組み事項】 ・お客さまのご意向・ニーズを適切に把握したうえでお客さまのライフプランを踏まえた資産形成について検討し、これに基づいた金融商品等の提案に努めます。 ・お客さまに金融商品等の提案を行う際には、類似商品や代替商品等の内容と比較することで最適な運用方法をご判断いただけるような説明に努めます。 ・商品ご購入後も運用状況や市場動向などの情報をお客さまに提供し、適切なアフターフォローを実施してまいります。 ・お客さまにとって投資対象としてふさわしい金融商品等であるかについて、当該商品におけるリスク・リターンや手数料等の基本的な仕組み、特性について十分に事前に適切性を確認したうえで提案を行います。 ・お客さまへ最適なご提案をするために必要な知識・スキル習得のため、職員向けに充実した教育・研修を実施します。またお客さまに対しても金融や投資に関する知識の向上や市場動向の把握に役立つセミナー等の機会提供に努めます。
2025 年度取組状況	
① お客さまへの情報提供ツール「ライフプランガイド」により、お客さまのライフプランを踏まえた資産形成について検討し、投資信託や保険商品等、類似商品の内容と比較することで最適な運用方法をご判断いただけるように努めております。 ② 投資信託、保険商品をお持ちのお客さまへ定期的・継続的にアフターフォローを行うことで、お客さまとの長期的なリレーションシップを築いております。 ③ ホームページにて当行取扱いファンドの販売件数や各期間の収益率等のランキングの他、リスク・リターンを掲載することで、お客さまがファンドを分かりやすく選定できるようにしております。 ④ お客さまに対して金融や投資に関する知識の向上や市場動向の把握に役立つ機会を提供するためセミナーを定期的に開催致しました。（2025 年度セミナー実施回数 40 回、参加者　594 名） ⑤ また社会貢献活動として主に県内高校生を対象とした金融経済教育授業を実施致しました。（2025 年度授業実施回数　　11 回、受講者　　608 名） ⑥ 各営業エリアに駐在するＦＡ（ファイナンシャルアドバイザー）の対面、Web での研修や内部管理を担う責任者への研修により職員の知識・スキル向上を図っております。	

項目	取組方針（アクションプラン）
６．職員に対する適切な動機づけの枠組み等	当行は、本方針への取組みを促進するような業績評価体系や、職員への研修その他の適切な動機づけの枠組みや適切なガバナンス体制の整備に努めます。
2025 年度取組状況	
・2025 年度の営業店業績評価において、預かり資産販売手数料を評価するうえで、各商品の販売手数料率としました。また、ＮＩＳＡ口座獲得、投資信託残高純増、積立投資信託販売額等について評価。定性評価において FD（フィデューシャリー・デューティー）の取組状況を評価。個人業績評価においては預り資産販売額、積立投資信託販売額、ＮＩＳＡ口座獲得額、iDeCo、平準払保険獲得目標を継続し、積立長期投資推進の観点から「顧客本位の業務運営に関する原則（フィデューシャリー・デューティー/FD）」に沿った評価を採用しております。	

※当行では、以下の金融商品等については販売・推奨を行っておりません。

・複数の金融商品・サービスをパッケージとした商品
・複雑またはリスクの高い商品
・当行が組成に携わる金融商品

以　上

＜ＫＰＩ＞

<table>
<tr><th>視点</th><th>ＫＰＩ</th></tr>
<tr><td>１.人材育成</td><td>研修の実施（2025年度）</td></tr>
<tr><td></td><td>〇お客さま本位の業務運営、コンプライアンス
・実施回数：　　30回
・参加者数：　　483人

※本部及びＦＡ主催の研修を記載。

（実施回数　30 回の内訳）　（単位：回）
<table>
<tr><th>研修名</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>①　預り資産実務者研修</td><td>1</td></tr>
<tr><td>②　内部管理責任者研修</td><td>1</td></tr>
<tr><td>③　ＦＡ会議(※1)</td><td>12</td></tr>
<tr><td>④　新任ＦＡ研修</td><td>1</td></tr>
<tr><td>⑤　預り資産研修</td><td>15</td></tr>
</table>
（各研修に顧客本位の業務運営に関する原則（ＦＤ)、コンプライアンス研修を組み込む形式により実施）
(※1) ＦＡ＝ファイナンシャルアドバイザー

〇保険商品、投資信託商品
・実施回数：　　229回
・参加者数：　　1,947人

※本部主催の研修を記載。

（実施回数　229 回の内訳）　（単位：回）
<table>
<tr><th>研修名</th><th>実施回数</th></tr>
<tr><td>①　ＦＡ会議(※1)</td><td>12</td></tr>
<tr><td>②　新任ＦＡ研修</td><td>1</td></tr>
<tr><td>③　預り資産研修</td><td>216</td></tr>
</table>
（各研修に保険・投資信託商品研修を組み込む形式により実施）
(※1) ＦＡ＝ファイナンシャルアドバイザー</td></tr>
</table>

2．お取引状況	資産形成の支援実績（2025年度）

〇預かり資産・投資信託残高

・預かり資産残高：　101,807百万円

・投資信託残高：　26,314百万円

・生命保険残高：　73,783百万円

【預かり資産・投資信託残高】

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
預かり資産残高（百万円）	100,044	97,617	101,807
投資信託残高（百万円）	22,203	22,188	26,314
保険残高（百万円）	77,014	74,631	73,783

〇投資信託顧客数

・投資信託新規顧客数：人

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
投資信託新規顧客数（人）	618	488	382
投資信託顧客数（人）	29,920	29,262	28,684

・NISA新規顧客数：人

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
NISA 新規顧客数（人）	714	495	375
NISA 顧客数（人）	4,883	5,095	5,258

・積立投資信託新規契約件数：件

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
積立投資信託新規契約(件)	1,153	1,250	854
積立投資信託契約数(件)	6,214	6,873	7,152

〇生命保険契約件数

・新規契約数：件

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
生命保険新規契約(件)	1,730	1,774	1,316
生命保険契約数(件)	14,747	14,184	13,825

３．情報提供	お客さま向けセミナーの開催（2025年度）
	〇お客さま向けセミナーの開催 ・開催回数：　　40回 ・参加者数：　　457人 〇社会貢献活動の一環としてのセミナー開催 ・開催回数：　　11回（中学・高校等　8回、山形大学講座　3回） ・参加者数：　　608人 山形県は2025年金融経済教育推進機構の金融リテラシー調査において「金融経済教育を受けたと認識している人の割合」が全国一位となりました。当行が行ってきた社会貢献活動の一環としてのセミナー開催が山形県民の金融リテラシー向上の一翼を担ってまいりました。これからも地元の為に貢献してまいります。 〇アフターフォローの実施状況 1.定期的なアフターフォロー ⑴投資信託　2025年度　939件 【対象先】 ①　75歳以上のお客さま ②　運用損失となっている上位10%のお客さま ③　新規投資信託口座開設のお客さま ⑵生命保険　2025年度　418件 【対象先】 ①75歳以上のお客さま 2.相場急変時など臨時のアフターフォロー 投資信託の基準価額が前営業日より5%以上下落した銘柄を保有するお客さま

以　上

「投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」について

きらやか銀行はこれまで、株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営宣言」に基づく取組状況について公表してまいりましたが、今般、これまでの取組状況の公表に加え、2018 年６月に金融庁より公表された、お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で、比較することのできる統一的な指標（以下、「比較可能な共通ＫＰＩ」）を新たに公表いたします。

当行は今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

＜比較可能な共通ＫＰＩ＞

１.お客さまの運用損益率別の割合

●当行で投資信託を保有するすべてのお客さまについて、基準日時点の累積の運用損益を算出し、運用損益別の比率を示した指標です。

運用損益率別顧客比率　2023 年３月末

運用損益率	顧客数（人）	顧客比率(%)
-50%未満	148	1.46
-50%以上　-30%未満	124	1.23
-30%以上 -10%未満	509	5.03
-10%以上 0%未満	754	7.46
0%以上 +10%未満	1,687	16.68
+10%以上 +30%未満	2,809	27.77
+30%以上 +50%未満	1,940	19.18
+50%以上	2,143	21.19
総計	10,114	-

運用損益率別顧客比率　2024 年３月末

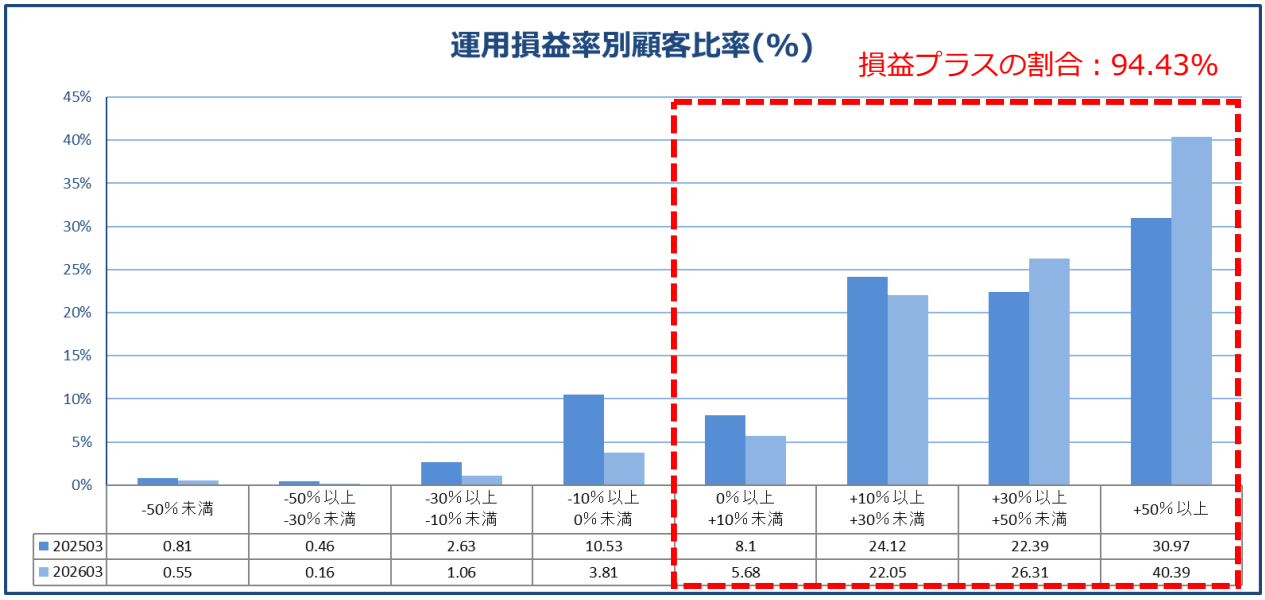
運用損益率	顧客数（人）	顧客比率(%)
-50%未満	117	1.22
-50%以上　-30%未満	19	0.20
-30%以上 -10%未満	151	1.57
-10%以上 0%未満	264	2.75
0%以上 +10%未満	670	6.98
+10%以上 +30%未満	2,606	27.17
+30%以上 +50%未満	2,643	27.55
+50%以上	3,123	32.55
総計	9,593	-

運用損益率別顧客比率　2025 年３月末

運用損益率	顧客数（人）	顧客比率(%)
-50%未満	76	0.81
-50%以上　-30%未満	43	0.46
-30%以上 -10%未満	247	2.63
-10%以上 0%未満	991	10.53
0%以上 +10%未満	762	8.10
+10%以上 +30%未満	2,269	24.12
+30%以上 +50%未満	2,106	22.39
+50%以上	2,914	30.97
総計	9,408	-

運用損益率別顧客比率　2026 年３月末

運用損益率	顧客数（人）	顧客比率(%)
-50%未満	50	0.55
-50%以上　-30%未満	15	0.16
-30%以上 -10%未満	97	1.06
-10%以上 0%未満	349	3.81
0%以上 +10%未満	521	5.68
+10%以上 +30%未満	2,022	22.05
+30%以上 +50%未満	2,413	26.31
+50%以上	3,705	40.39
総計	9,172	-



	-50%未満	-50%以上 -30%未満	-30%以上 -10%未満	-10%以上 0%未満	0%以上 +10%未満	+10%以上 +30%未満	+30%以上 +50%未満	+50%以上
202503	0.81	0.46	2.63	10.53	8.1	24.12	22.39	30.97
202603	0.55	0.16	1.06	3.81	5.68	22.05	26.31	40.39

※運用損益率は（評価金額＋累計受取分配金＋累計売付金額－累計買付金額）÷評価金額で算出しております。基準日時点で投資信託※を保有している顧客を対象とします。

※DC専用投信、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除きます

・2025年度のマーケットは、米トランプ政権の関税政策などに伴う上期の乱高下を経て、大方の予想を上回る大幅高で終了しました。日経平均株価は前年比で１万円以上（約26%）上昇し、2026年末の終値で史上初めて5万円台となるなど記録的な一年となりました。

２．投資信託預り残高上位２０銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

●当行で取扱う投資信託の残高上位 20 銘柄について、銘柄毎及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係、リスクとリターンの関係を示した指標です。

投資信託預り残高上位２０銘柄の一覧（2026 年３月末時点）

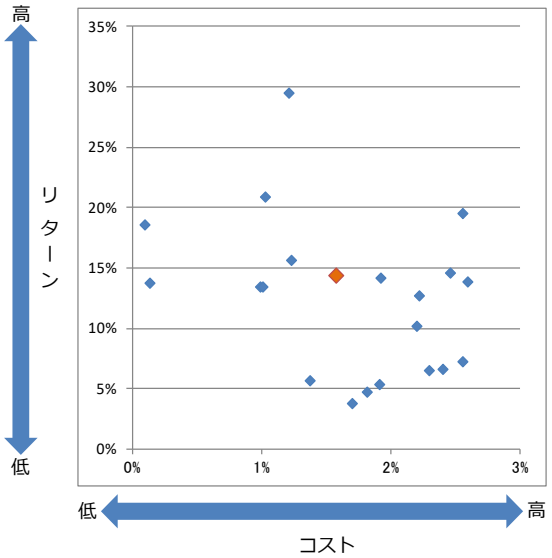
No	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱ＵＦＪ純金ファンド（ファインゴールド）	1.21	19.22	29.47
2	ＭＨＡＭ株式インデックスファンド２２５	0.99	17.47	13.38
3	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40	9.47	6.64
4	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型（財産３分法）	1.38	8.19	5.69
5	インデックスファンド２２５	1.01	17.48	13.37
6	たわらノーロード先進国株式	0.10	14.50	18.57
7	東京海上・世界モノポリー戦略株式ファンド（毎月決算型）	2.46	11.60	14.52
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）（杏の実）	1.82	8.85	4.67
9	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ（ミルフィーユ）（奇数月分配型）成長重視ポートフ	1.93	10.29	14.10
10	インデックスファンドＮＡＳＤＡＱ１００（アメリカ株式）	1.03	20.59	20.89
11	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.60	20.76	13.79
12	ダイワ・ＵＳ－ＲＥＩＴ・オープン（毎月決算型）Ｂコース（為替ヘッジなし）	2.22	16.77	12.69
13	みずほＵＳハイイールドオープンＢコース（為替ヘッジなし）	2.20	9.17	10.17
14	ニッセイＡＩ関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（ＡＩ革命（為替ヘッジなし））	2.55	25.54	19.54
15	たわらノーロード日経２２５	0.14	17.48	13.78
16	グローバル不動産投信（隔月決算型）（家主生活）	2.30	13.39	6.44
17	ファイン・ブレンド（資産成長型）	1.91	5.94	5.30
18	インデックスファンドＮＹダウ３０（アメリカ株式）	1.23	14.12	15.57
19	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71	6.63	3.79
20	ニッセイＡＩ関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（ＡＩ革命（為替ヘッジあり））	2.55	23.87	7.23

・当行を通じて保有いただいている投資信託の残高上位20銘柄について、2026年3月末におけるコストに対するリターンは20銘柄中全銘柄においてリターンがコストを上回っています。

・今後については各運用会社から情報を取得し、当行で投資信託を保有しているお客さまに対してアフターフォローを徹底してまいります。

（2026年3月末）

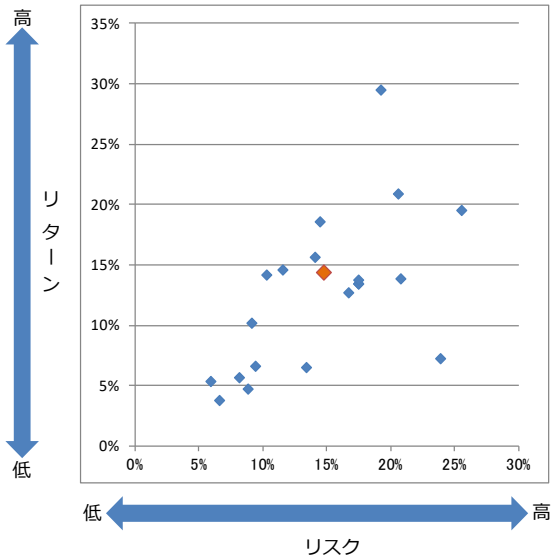
投資信託預り残高上位２０銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.58	14.35

コスト	全体	販売手数料率の１／５＋信託報酬率
	販売手数料率	取扱い時の最低販売金額での料率
	信託報酬率	実質的な信託報酬率の上限
リターン		過去５年間のトータルリターン（年率換算）

投資信託預り残高上位２０銘柄のリスク・リターン



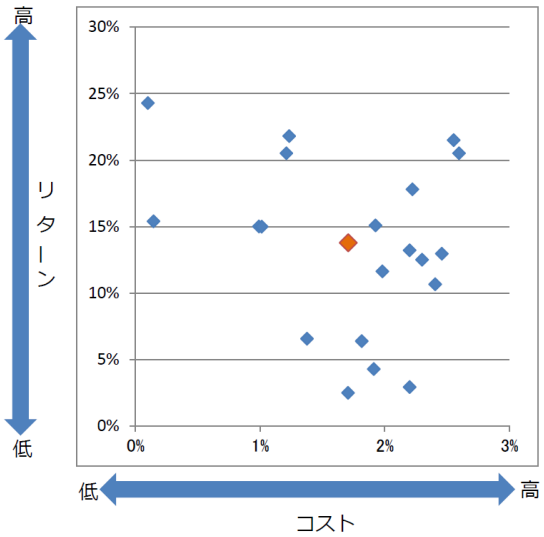
残高加重平均値	リスク	リターン
	14.81	14.35

リスク	過去５年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
リターン	過去５年間のトータルリターン（年率換算）

リスク・リターン出所：株式会社ＮＴＴデータ・エービック
Copyright (C) 2026, NTT DATA ABIC Co., Ltd. All rights reserved.

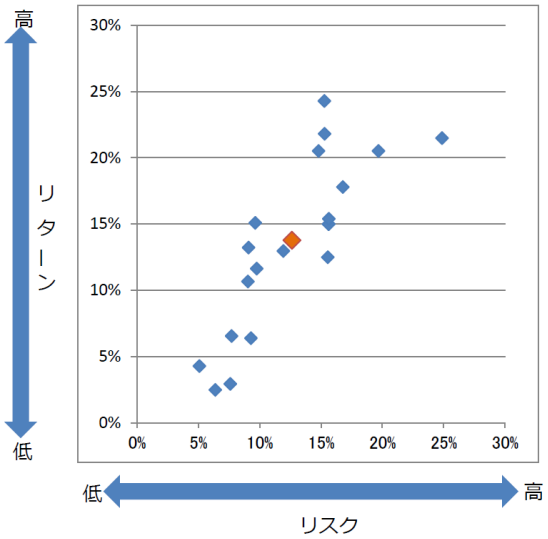
【参考】（2025年3月末）

投資信託預り残高上位２０銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.71	13.78

投資信託預り残高上位２０銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.63	13.78

以上

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」について

きらやか銀行はこれまで、株式会社じもとホールディングスの「お客さま本位の業務運営宣言」に基づく取組状況について公表してまいりましたが、今般、これまでの取組状況の公表に加え、2018年６月に金融庁より公表された、お客さま本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で、比較することのできる統一的な指標（以下、「比較可能な共通ＫＰＩ」）を新たに公表いたします。

当行は今後もお客さまに信頼される銀行として「お客さま本位の業務運営」を徹底してまいります。

＜比較可能な共通ＫＰＩ＞

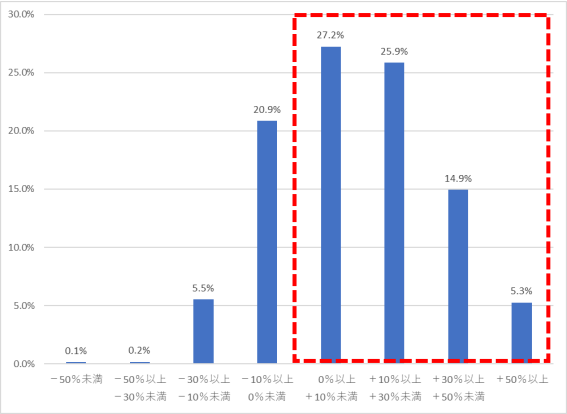
１.お客さまの運用損益率別の割合

●当行で外貨建保険を保有するすべてのお客さまの、購入時以降のリターンを算出し、リターン別の比率を示した指標です。

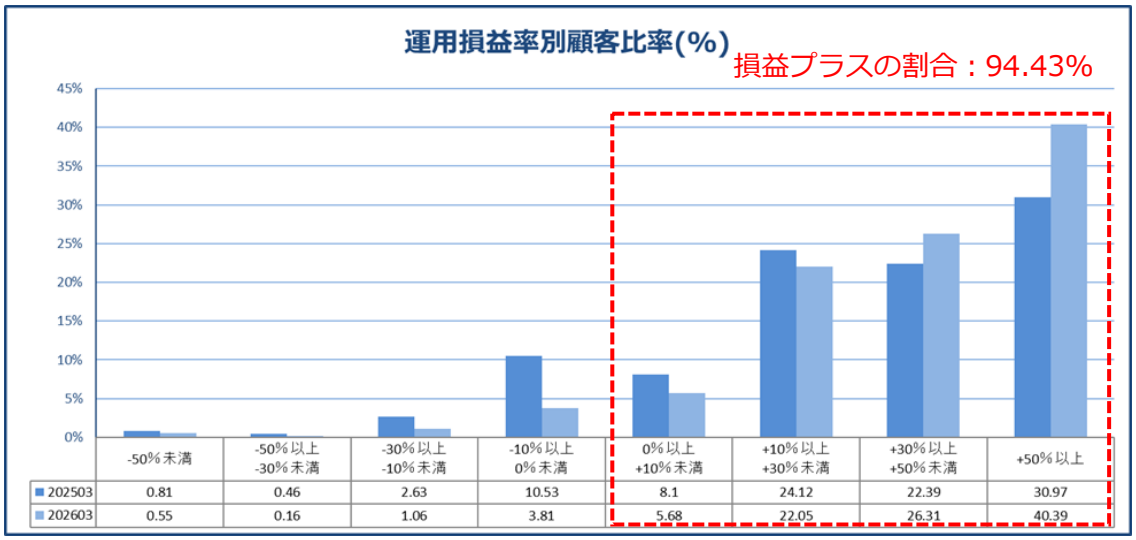
外貨建保険の運用損益率別顧客比率　　2026年３月末

損益プラスの割合：73.3%

運用損益率	顧客比率	顧客数
－50%未満	0.1%	14
－50%以上　－30%未満	0.2%	17
－30%以上　－10%未満	5.5%	550
－10%以上　0%未満	20.9%	2,078
0%以上　＋10%未満	27.2%	2,712
＋10%以上　＋30%未満	25.9%	2,574
＋30%以上　＋50%未満	14.9%	1,488
＋50%以上	5.3%	524
総計		9,957



・2026年3月末で外貨建保険を保有している顧客の運用評価別顧客比率では、73.3%のお客さまの運用評価率がプラスである一方、26.7%のお客さまの運用評価率がマイナスとなっております。一方で、投資信託においては、直近の2026年3月は株式市場の好転により、94.43%がプラス、5.57%がマイナスとなっています。



※保険については保障機能を有するものの、リターンには同機能の反映がなされておりません。したがって、リターンのみをもって単純に比較することには注意が必要です。

２．外貨建保険各銘柄のコスト・リターン

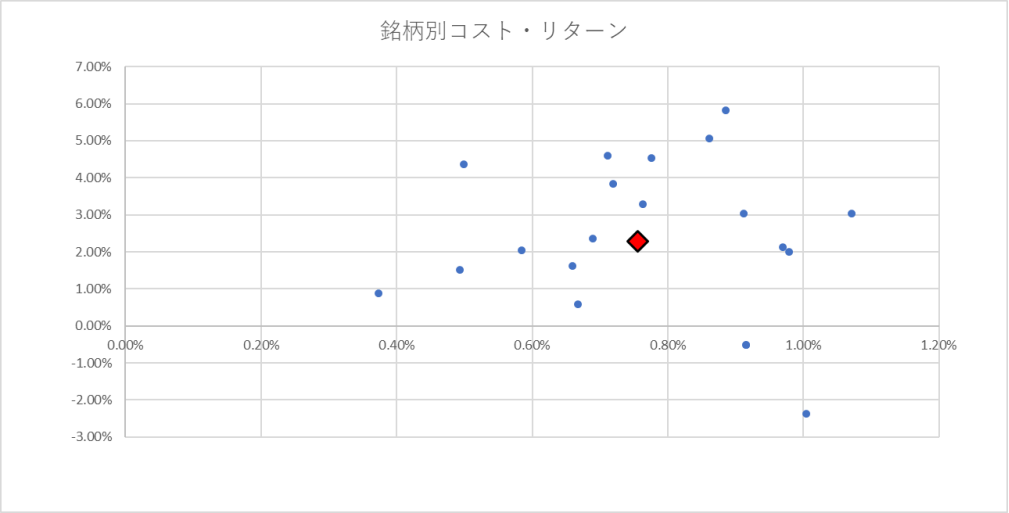
●当行で取扱う外貨建て保険の各銘柄について、銘柄毎及び加重平均のコスト（※1）とリターン（※2）の関係を示した指標です。

外貨建保険銘柄の一覧（2026 年 3 月末時点）

・当行を通じて保有いただいている外貨建保険（5年保有超）の各銘柄について、2026年3月末におけるコストに対するリターンは20商品中16商品においてリターンがコストを上回っています。

商品名	コスト	リターン
たのしみ、ずっと	0.72%	3.83%
やさしさ、つなぐ	0.49%	1.51%
生プレワールド5	0.92%	−0.52%
生プレワールド6	0.92%	−0.52%
しあわせ、ずっと	0.66%	1.61%
あしたの、よろこび2	0.98%	2.00%
ふるはーとJロードグローバル	0.71%	4.60%
生プレワールド4	0.67%	0.57%
おおきな、まごころ	1.00%	−2.37%
ダブルアカウント・グローバル（豪ドル）15年	0.76%	3.29%
しあわせ、ずっと2	0.89%	5.81%
あしたの、よろこび	0.97%	2.12%
ゴールデンエッグズ（豪ドル）15年	0.78%	4.54%
たのしみグローバル（指数）	0.86%	5.06%
ダブルアカウント・グローバル（豪ドル）10年	0.69%	2.36%
ふるはーとJグローバルⅡ	0.91%	3.03%
ファイブテンW	0.37%	0.89%
ロングドリームGOLD	0.58%	2.04%
たのしみグローバルⅡ（指数）	1.07%	3.03%
みらい、そだてる	0.50%	4.36%
加重平均（グラフ内◆マークに位置）	0.76%	2.28%

外貨建保険各銘柄のコスト・リターン（2026年3月末）



以上